

北街区における多世代交流スペースの整備について

1 第1回協議会での主な意見

- 平成30年度に「平塚高村団地及びその周辺地区における地域医療福祉拠点整備モデル地区構想」の策定に当たり、地域でアンケート調査を行っており、多世代交流スペースの設置に当たっても、その際の地域の要望を実現してもらいたい。
- 当該地域の課題としては、少子高齢化があり、この少子高齢化に対応する子ども・若者世代の事業について、多世代交流スペースを中心に展開して欲しい。
- 特に、近隣の図書館等が午後5時に閉館してしまい、特に、中学生・高校生が勉強できる場所がないため、子どもの学習スペースの確保を希望。広いフリースペース（自由度の高い設計）としてもらいたい。
- また、子ども食堂の実施も地域の要望であり、子ども食堂が実施可能な（保健所で許可取得可能な仕様）キッチン設備の設置も要望。
- 現状では、それぞれの団体または事業者が各々、交流の場や子ども食堂などを展開しているので、このモデル地区を拠点として、集約したらどうか。
- 地域の子どもから高齢者まで幅広く、フラッと気軽に立ち寄れる居場所（多世代交流スペース）を要望。

2 整備に当たっての方向性（目指すべき姿）

- 子ども食堂の実施可能な（保健所で許可取得可能な仕様）キッチン設備と、広いフリースペース（自由度の高い設計）を設けた、多世代交流スペースを整備。
- （整備する）多世代交流スペースでは、学校・部活終わりの中学生・高校生が、夜8時位まで勉強できる学習スペースを確保。
- 地域の子どもから高齢者まで幅広い世代が立ち寄れる居場所（多世代交流スペース）を目指す。